



北の森^も林^り 国有林



今月のトピック

- ・ 間伐等事業における民間競争
入札の取り組み

8月11日 国民の祝日「山の日」
写真:ニペソツ山(左)と表大雪の山々(右)



国民の森林・国有林

北海道森林管理局



フェラーバンチャによる伐倒の状況



現地説明会の様子



間伐とは、樹木の成長の課程で過密となった立木の一部を抜き取り、立木密度を調整する作業です。風水害等に強い健全な森林の整備、下層植生の繁茂による表土の浸食や流出の抑制、様々な動植物の生息・生育の場を確保することによる生物多様性の保全への寄与など、森林の有する多面的機能の発揮に大きな意義があります。

民間競争入札の取り組みは、公共サービスの利益を享受する国民の立場に立ち、民間事業者の創意と工夫を適切に反映させ、良質かつ低廉な公共サービスを目指すもので、国有林の間伐等（複層林へ誘導する伐採を含む）・路網整備・植付が対象とされ、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」に基づく「公共サービス改革基本方針」に沿って、複数年の契約ができることとされています。

北海道森林管理局では、間伐や植付による更新を一連の作業として効率的・効果的に実施していくことが、森林の有する公益的機能の発揮はもとより、林業の成長産業化の実現に向けても重要であることから、この事



ハーベスタによる伐倒・枝払い・玉切りの状況



グラップルによるフォワーダへの積み込みの状況





フォワーダによる集材の状況



土場での荷下ろしの状況



素材を販売するための桧（はい）積の状況



トラックによる製材工場等への輸送の状況

北海道森林管理局民間競争入札の実施状況

	平成23年度 (3箇年)	平成24年度 (3箇年)	平成25年度 (3箇年)	平成26年度 (3箇年)	平成27年度 (3箇年)	平成28年度 (3箇年)
実施署	2	1	2	3	5	5
面積	797ha	406ha	738ha	768ha	1,149ha	1,268ha
伐採量	15,000m ³	13,000m ³	26,000m ³	27,000m ³	51,000m ³	64,000m ³

(資源活用第二課)

また、実施した林業事業体からは、「複数年にわたる事業量を確保することで、経営や雇用が安定する。」「高性能林業機械の導入が促進する。」「林業機械に整合した、使いやすく丈夫な森林作業道を設計・開設できる。」「などの意見を頂いており、今後も積極的に取り組んでいくこととしています。



間伐後の林分状況



ザウルスロボによる森林作業道作設の状況



森林作業道作設後の状況

木質バイオマスの安定供給に向けて

地域課題の解決に向けた取組

上川南部森林管理署

近年、木質バイオマスのエネルギー利用に大きな注目が集まっており、エネルギーの域内循環による雇用創出や地方創生に期待が高まっています。



地元小学校のバイオマスボイラー

当署管内の南富良野町では木質バイオマス燃料の加工を行い、公共施設等へ熱供給を行うとともに、近隣地域にあるFIT（※）制度活用の大規模発電施設へ木質チップ

を供給し、地域活性化を目指しています。

これらを着実に進めていくには民有林と国有林が一体となって木質バイオマス資源を供給しスケールメリットを発揮していくことが重要となっています。

当署は、木質バイオマスの利用推進を目的として地域の林業関係団体、関係行政機関で組織されている「上川管内木質バイオマス安定供給協議会」に参画し、そこでの検討を生かしつつ、木質バイオマスを安定的かつ効率的に供給するための取組を行なっています。これまで未利用間伐材等が多く発生していた人工林を対象に、資源量のまとまり、路網からの距離、機械化への可能性等を考慮して団地を設定

し、署と森林組合、林業事業体による合同の現地検討会を実施しました。

これを踏まえ施業実施計画の変更を行い、今年度は木質バイオマス資源を念頭に置いた立木のシテム販売を予定しています。



バイオマス用間伐予定地現地検討会

また枝条等を効率よく集材するためバイオマス対応型フォワーダによる林地残材等の販売可能性を見極めるための功程調

査を実施しました。

作業シテム毎に分析した結果、コスト試算において旭川地区の原料材価格（山元土場）に比べ低い集積コストであることが立証できました。

これにより、有効な集材シテムを取りまとめ、地区の森林整備計画実行管理推進チーム会議、バイオマス安定供給協議会において発表し広く公開しました。

今後の主な取り組みとしては供給体制の更なる強化のため、署と南富良野町とが協定を結んでいる共同施業団地における施業の集約化、効率化に向けた取組を行っていくとともに、民有林・国有林が連携して林地未利用材の集荷に関する生産性について多面的に調整し、より効率的な作業シ

ステムを検討することが必要と考えています。



バイオマス対応型フォワーダ功程調査

FIT（※）
太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及を図るため、電力会社に再生可能エネルギーで発電された電気を一定期間、固定価格で買い取ることを義務づけた制度



知床は平成17年に世界自然遺産に登録され、今年で11年目を迎えます。

昨年は登録10周年記念行事が開催され、今後適切に保全していくことが確認されました。改めて、なぜ知床が世界自然遺産に選ばれ、現在、何が課題になっているかをご紹介します。

知床は世界遺産委員会において4つの評価基準のうち、「生態系」と「生物多様性」が評価され、世界自然遺産に登録されました。



(サケを食べるヒグマ)

知床は、季節的に海水(かいひょう)（海水が凍結してできる氷。流水など）が現れる地域として北半球で最も低緯度に位置しており、それらがもたら

す豊かな海洋の生産性と海と陸の生態系のつながりが見られます。

生物多様性は魚類、海で暮らす哺乳類、希少な海鳥類、渡り鳥類といった多くの海洋性、陸上性の種にとって重要な地域であり、シマフクロウやシレットコスミシなど希少な種が存在しています。



(シレットコスミシ)

課題と取り組み

これらを保全していく上で、遺産地域の適切な利用と併せ、科学的なデータに基づく管理を行うため学識経験者等から構成される各種ワーキンググループ(WG)が設置され、グループごとに課題の対応が行われています。当センターでは、世界

遺産地域管理者として各種会議・WGに担当者を配置し、会議において取り組み結果を報告し、議論結果を踏まえさらに課題解決に向けた取り組みを行っています。

【河川工作物アドバイザリー会議】
サケ科魚類が海と川を自由に移動できる環境を整える必要があるとの勧告を受け、魚道設置といった河川工作物(ダム等)の改良や魚類の遡上量調査等を実施しています。林野庁が事務局的役割を担っています。

【エゾシカ・陸上生態系WG】
エゾシカの食圧による自然植生への影響が懸念されているため、エゾシカの捕獲(平成28年1月号で紹介)や防鹿柵の管理、植生への影響調査を行っています。同時に、より科学的に目標捕獲頭数を決める方法、より低コストで捕獲する方法を検討しています。エゾシカ捕獲は主に林野庁、環境省が取組んでいます。

【適正利用・エコツーリズムWG】
地元旅行者も含めた関係機関と協力し、ヒグマをはじめとした野生動物と人のトラブル防止、登山道管理や植生の保護など世界遺産地域の適切な利用とエコツーリズムの推進を図っています。

今後知床の自然を将来まで引き継ぎ、多くの方に自然を適切に利用していただけるよう、世界自然遺産地域を含む知床半島の貴重な森林生態系保全にむけ、業務に取り組んで参ります。



(流水に覆われたオホーツク海)

こんにちは 森林官です!

網走中部森林管理署
北見森林事務所
地域統括森林官
(北見・端野担当区)
菅野 勝雄



たまねぎと焼肉の街

北見森林事務所は、人口約12万人を抱えるオホーツク管内の最大の都市・北見市の中心部にあります。

古くはハッカの生産で栄えた町ですが、現在ではたまねぎの生産が日本一を誇る農業の町でもあります。

近年では、人口当たりの焼肉店の数が北海道一ということもあって「焼肉の街」としても名が知られるようになりました。一方で、北見市はその約66%が森林となっており、中心部から30分も車を走らせれば森林が広がる自然豊かな地域です。

近郊には林業・木材関連産業が立地し、林業・木材産業の盛んな地域でもあります。

地域に親しまれる国有林として

事務所は、北見、端野、日吉、常呂の4つの森林事務所の合同森林事務所として所在しており、この合同森林事務所では北見

市内の国有林約2万1千ha（北見・端野担当区だけでは約1万ha）を管理経営しています。



仁頃山にて：筆者（左）

管内には、一帯が「仁頃山風景林」となっている仁頃山（829m）があり、北見市中心に近く手頃に登れる山として、多くの市民に親しまれています。

また、常呂川中流域の4千ha弱の地域が「オホーツクの森」として設定され、森林散策のための遊歩道や施設が整備されており、気軽に森林浴や野生生物の観察ができるほか、展望台からはオホーツク沿岸地域を一望することができます。

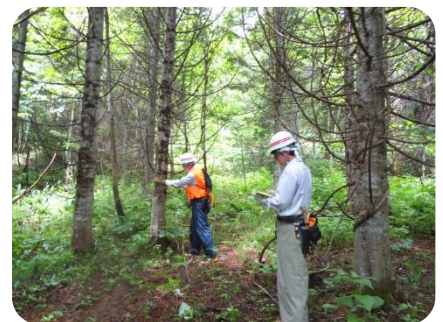
このフィールドを利用して、「常呂川森林ふれあい推進センター」が中心となって自然再生活動や森林環境教育を行っており、毎年6月頃に開催される「オホーツクの森ボランティア育樹」では、事務所職員も総出で参加し、より地域の方々に国有林に親しんでもらおうと日々取り組んでいるところです。



オホーツクの森

東奔西走の日々

日々の業務は、国有林の巡視のほか、森林施業に関する基礎資料となる地況林況調査、各種請負事業の監督業務、境界巡視等、幅広いものとなっています。



地況林況調査の様相

近年では台風・大雨等による、風倒木や林道の崩壊などの被害が多くなっています。

とくに、平成27年10月に発生した台風災害では、北見管内でも多くの林道が被害を受け、各種事業実行の妨げになっていきます。

こうしたことから、日々の林道巡視による崩壊箇所等の点検や維持・修繕が欠かせません。

今後先人が育んできた豊かな森林資源を後世に引き継ぐため、最前線で業務に取り組んで参ります。

各地からの便り

「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

国有林モニター会議

7月2日、北海道森林管理局大会議室において、平成28年度の国有林モニター会議を開催しました。今期（平成28年4月から平成30年3月までの2年間）の登録者は48名で、今回の会議はモニターの皆さまが初めて顔を合わせる第1回目の会議となり、遠くは中頓別町、網走市、上ノ国町など、全国各地から29名の参加をいただきました。



悪天候の中、ご来庁いただきまして感謝申し上げます

モニター会議では北海道森林管理局の仕事や今年度の北海道国有林の主な取組について説明し、日本最大のカラマツ造林地「パイロットフォレスト」の生い立ちのDVD

を視聴いただきました。

また、意見交換では出席いただいたモニターの皆様全員から意見や抱負、関心事項などについて発言いただきました。

モニターの方々からいただきました貴重なご意見を、国民の皆さまに目に見える形で示せるように取り組んで参ります。

モニターの皆さまには、これから2年間よろしくお願ひします。

（企画課）

みんなで森林づくり よみがえれ野幌の森 2016

【石狩地域森林ふれあい 推進センター】

6月22日、野幌国有林において「野幌の森」下草刈りを実施しました。

野幌森林公園は、平成16年の台風により、たくさんのお樹木が被害を受け、その森林を再生するため「100年前の原始性を感じられる森林」を目標に「みんなで森林づくりよみがえれ！「野幌の森」と題して市民のみなさんと

協働で野幌の森の再生に取り組んでいます。

4人1組になり各植栽列の下刈り作業を開始。

初めての参加者もいる中、途中、休憩を取りながら、みなさん爽やかな汗をかいていました。



参加されたみなさんお疲れ様でした

暑寒別岳清掃登山

【留萌南部森林管理署】

6月12日、暑寒別岳清掃登山が行われました。

暑寒別岳（1,492m）は郡別岳、南暑寒岳、雄冬岳などからなる増毛山地の主峰で暑寒別天売焼尻国定公園に指定され、また、日本二百名山に選定されています。

登山ルートは3つあり、増毛町側の暑寒ルート、箸別ルートと雨竜町側の

雨竜ルートがあり、今回は増毛山岳会の方々と、国有林内の箸別ルートを整備しました。

日本海側多雪地帯である増毛山地は、寒風吹きすさぶ厳しい気候により、登山道に枝が落ちたり倒木により、道を塞いだりしていることから、それらを取り除き、登山道に霧が立ちこめると5m先も見通せないほど視界が遮られるため、雪渓で登山者が道に迷わないよう赤い布（デポ旗）などで目印をつけていきました。これから、本格的な夏山登山のシーズンを迎えます。

ゴミは持ち帰るなどマナーを守り多数の登山者が訪れることを期待しています。



雪渓にデポ旗を設置

カルチャーナイト 2016



1. 主旨

主に札幌市内の公共施設等を夜間に開放し、各施設が持っている専門分野や特色を生かした文化プログラムを市民に提供する「カルチャーナイト」を北海道森林管理局においても以下のとおり開催します

2. 開催日時

平成28年7月22日(金) 17:00~20:30

3. 開催場所

北海道森林管理局 1F ウッディホール

(札幌市中央区宮の森3条7丁目70番)

4. 内容

当庁舎のウッディホールにおいて、以下のとおり木工教室やパネル展を実施します

- ・木のタネの模型づくり
- ・箸づくり
- ・おがくず粘土で鉛筆づくり(もくねんさん)
- ・北海道の山の生き物パネル展

CULTURE NIGHT 2016 会場とメニューのご案内

箸づくり
木を削ってつくる自分だけの箸♪
★所要時間★ 50分程度
定員：各回10名
① 17:30~
② 18:30~
③ 19:30~

木のタネの模型づくり
形のちがったタネをつかって飛ばしてみよう！
★所要時間★ 15分程度
いつでも参加OK

もくねんさん
おがくずで作られた粘土でえんぴつをつくってみよう！
★所要時間★ 20分程度
定員：各回10名
① 17:15~
② 17:45~
③ 18:15~
④ 18:45~
⑤ 19:15~
⑥ 19:45~

北海道森林管理局

—お問い合わせ先— 技術普及課 011-622-5245

参加無料

体験コーナー

食品表示Gメン いんご何個なってるかな？

もみすり&お米のつばを数えてみよう！ 木のマグネット&おがくずねんどの鉛筆づくり

イカスミ 魚拓・書道 体験

山のお仕事

楽しいクイズもあるよ！

夏休み子ども見学デー
体験しよう！
各と農林水産のせかい！

日時 7月28日(木) 9:30~15:00
2016年 7月29日(金) 9:30~15:00

場所 北海道森林管理局
(札幌市中央区宮の森3条7丁目70番)

夏休みに、食や農林水産のせかいのフシギを、体験しよう！
自由研究のテーマにもできるよ！

—お問い合わせ先— 技術普及課 011-622-5245

プログラムの詳細は、ホームページを見てお！
<http://www.maff.go.jp/hokkaido/press/>

北海道農政事務所 わくわく 子ども 検索

広報 「北の森林 国有林」7月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70

I P 電話 050-3160-6300
電話 011-622-5213
F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

行事・イベント情報

7月22日(金曜日)
カルチャーナイト2016
(北海道森林管理局)

7月28日(木曜日) ~
29日(金曜日)
わくわく
夏休み子ども見学デー
(北海道森林管理局)